

タスペーサー 02・03

【平板スレート屋根再塗装時の縁切り部材】

商標登録第4902163号
特許取得第3956012号
茨城県知事経営革新計画承認 中企第495号

取扱説明書

はじめに…

このたびはタスペーサーをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「注意事項」は必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

取扱説明

1. タスペーサー 02・03は、シーラー・プライマー等の下塗りを完全に乾燥させてから挿入してください。
2. タスペーサー 02・03は、水性・弱溶剤型の塗料をお使いください。
3. タスペーサー 02・03には、強溶剤型の塗料は使用しないでください。
4. タスペーサー 02・03は、初めての塗替えであれば手差しで挿入可能です。
5. タスペーサー 02・03を2回目以降の塗替えで使用する際は、前の塗膜(塗料で密着している屋根材の上下水平方向重なり部)を皮スキなどの工具で、隙間を開けながら挿入してください。
6. タスペーサー 02・03の挿入箇所は、屋根幅(約910mm)に対して縦突合せ目地から左右15cm位のところに2ヶ所挿入してください。(挿入箇所はタスペーサー縁切り工法参照)
7. タスペーサー 02・03は、屋根材の上下水平方向重なり部にタスペーサー後方のストッパー部が完全に止まるまで挿入してください。
8. タスペーサー 02・03は、挿入したままで上塗りまで施工し、抜き取らずに完了です。
9. 三寸未満の緩やかな屋根の勾配には、タスペーサーはご使用にならないでください。
10. 二回目(再々塗装)以降の塗替え時には、屋根材重なり部に付着した旧塗膜や苔等を完全に除去した上で、タスペーサーをご使用下さい。
11. タスペーサーは、シングル材屋根にはご使用になれません。
12. 屋根材の経年劣化(タワミ、反り現象)等により、既に屋根材重なり部に4mm以上の隙間が発生している箇所には、タスペーサーはご使用にならないでください。

よくある質問(Q&A)

Q: タスペーサー 02・03の違いはなんですか?

A: ほとんどの場合は02型で大丈夫です。03型を使用する場合は、屋根材または屋根下地材(野地板)が経年劣化している場合に使用します。

Q: 挿入する隙間について

A: 隙間が4mm以上ある場合は、使用しないでください。

Q: タスペーサーは㎡あたり何個使用しますか?

A: 屋根幅(約910mm)に対して左右15cm位のところに2ヶ所挿入すると、㎡あたり約10個前後使用します。

Q: タスペーサーの材質は何で出来ていますか?

A: ポリカーボネイト樹脂で出来ています。

Q: タスペーサーを使用することにより屋根材は割れませんか?

A: 適正な挿入箇所で、急激に加重を加えたりしなければ割れる恐れはありません。

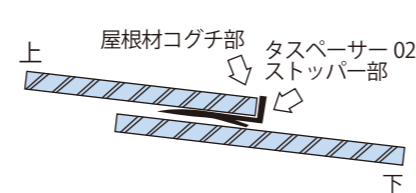
注意事項

1. タスペーサー 02・03を平板スレート屋根塗替え以外の目的には使用しないでください。
2. タスペーサーを挿入した屋根面上で、急激に加重を加えたりしないでください。(劣化状況によってはヒビがはいる場合があります)
3. コケ、ホコリ、ゴミ等が残っていると、タスペーサーの密着性が悪くなる場合がありますので、塗装前の下地調整(洗浄、素地調整、養生)等は十分に行なってください。
4. タスペーサー 02・03を使用して縁切りする時は、お使いになる塗料カタログに明記してある規定の塗布量で塗り終えてください。(屋根材コグチ部とタスペーサー後方ストッパー部が塗料で密着されていませんと、工事後に抜け落ちる危険性が出てきます)
5. 前回の塗替えでタスペーサーを使用施工されている場合、タスペーサー挿入付近に衝撃や急激な加重を加えたりしますと、屋根面劣化状況によってはヒビがはいる場合がありますので、十分に注意をして作業を行なってください。
6. 高所(2m以上)での作業を行なう時には、適正な足場を架け、十分な安全対策を整えた上で作業を行なってください。
7. 経年劣化により屋根材が、少しの衝撃でも破損しやすくなっている場合があります。屋根面上に負担をかけないように、作業を行なってください。
8. 塗装終了後、次回の塗替えまでは点検アフターサービスを行なってください。密着性が衰えている箇所は、必ず同じ塗料もしくはコーキング等で再度密着させるか、抜き取ってください。
9. 火気の近くには置かないでください。また、高温になる場所での保管はしないでください。
10. 塗替え改修前には、屋根小屋裏から野地板の現状を診断し、施主様にその状態を認知していただいてからの工事着手を推奨いたします。
11. 再塗装及び再々塗装を行う場合は、事前に屋根材の経年劣化状況や屋根材の下地劣化状況を診断されることをお奨め致します。タスペーサーのような緩衝材やその他の縁切り工法が原因でない不具合が発生する危険性が考えられます。

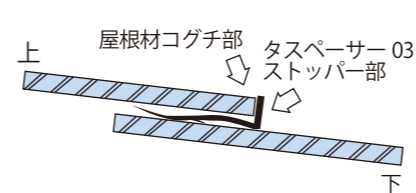
※その他の資料、試験実験データ(映像)及びパンフレット等が必要な時は、FAXにてご請求ください。

※またその他、ご不明な点はセイムカスタマーサービスまでご連絡ください。

(図1) タスペーサー 02



6(図2) タスペーサー 03



タスペーサー
カスタマーサービス
株式会社 **セイム**
0120-603-565
茨城県守谷市本町 257-1

※タスペーサーはポリカーボネイト樹脂製です。

タスペーサー

平板スレート屋根再塗装時の縁切り部材



より良い通気性を確保するために…

タスペーサー「縁切り工法」をお試しください。



タスペーサー02/03 常備色…黒・茶 ※03は黒のみ その他の色…受注生産

■タスペーサーはポリカーボネイト樹脂製です。

商標登録第4902163号 特許第3956012号



製造販売元
株式会社 **セイム**

〒302-0109 茨城県守谷市本町257-1
TEL 0297-20-6222 FAX 0297-20-6223

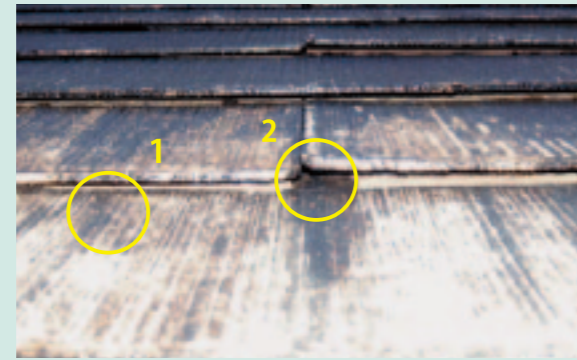
カスタマーサービス **0120-603-565**

平板スレート屋根葺き工法と劣化現象



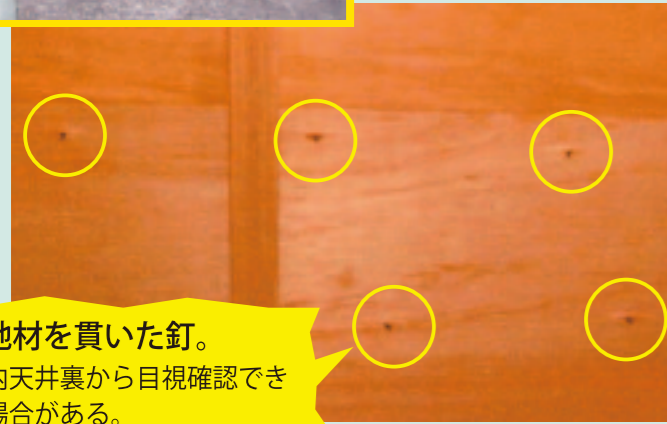
多く見られる屋根材施工の実態

屋根材を打ち付けた釘が下地(コンパネ)野地板を貫いて、家の天井裏に突き抜けている。



屋根材を手入れもせずに放っておくと…

1. 屋根材の塗膜が劣化し防水性を失う。
2. 屋根材の反り劣化現象につながる場合がある。
3. 放っておくと破損の要因となる。



下地材を貫いた釘。室内天井裏から目視確認できる場合がある。

塗装時の「縁切り」が無い場合による不具合

● 数年前に塗装をした事例



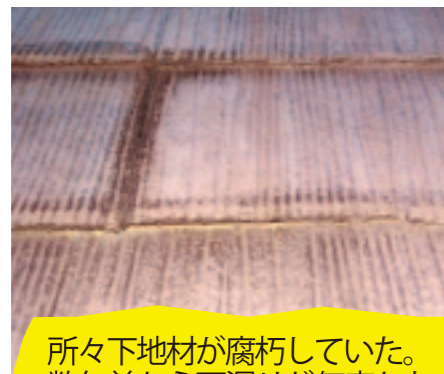
工具で屋根材を少し持ち上げただけで、中に溜まっていた水分が流れ出てきた。

● 2年前に塗装をした事例



雨上がりの翌日撮影。下地が腐朽していた。

● 築年数19年の家…塗装を2回行った



所々下地材が腐朽していた。数年前から雨漏りが何度かあったという。



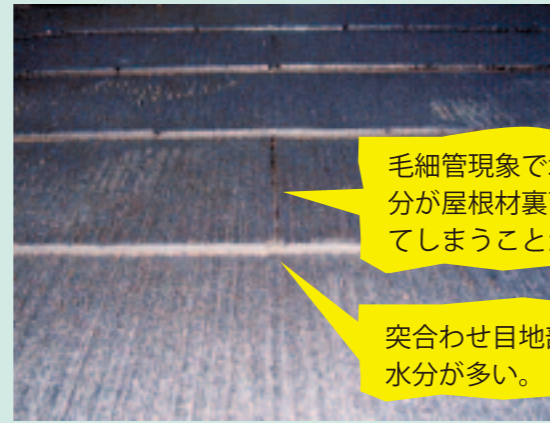
この家は下地が完全に腐朽し、塗装によるリフォームができず、金属屋根にした。

● 構造材の腐朽



数年前から何度か雨漏りがあったという。外壁ヒビ割れからの水分侵入もあり、構造材まで腐朽していた。

水分の侵入と排出のしくみ



毛細管現象で水平方向から水分が屋根材裏面に吸い込まれてしまうことがある。

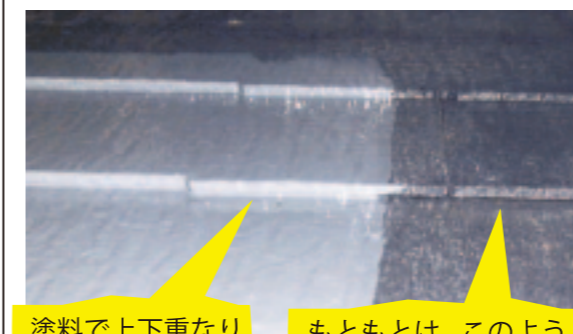
突合わせ目地部から侵入する水分が多い。



もともとは、屋根材裏面に入った水分(雨水)は排出できるようになっている。

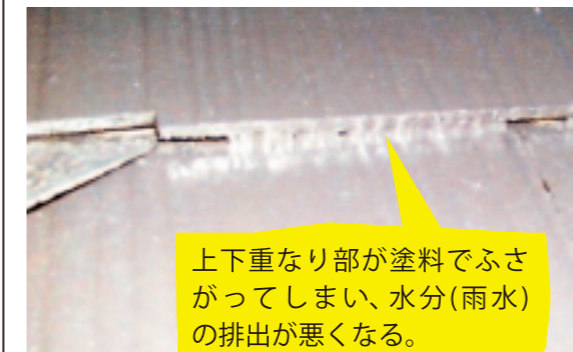
● 塗装前、雨上がり2時間後の様子

縁切りとは…？ それはなぜ必要か？



塗料で上下重なり部がふさがれてしまう。

もともとは、このように少しの隙間が確保されている。



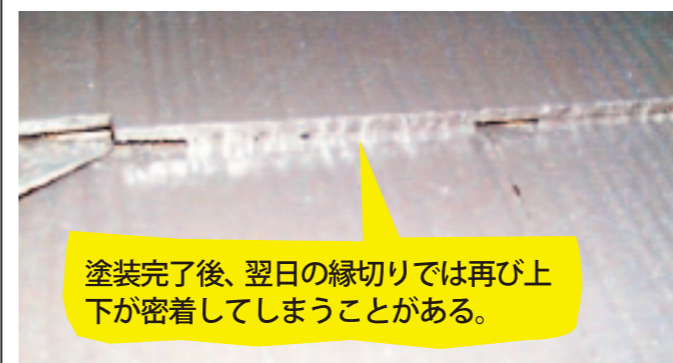
上下重なり部が塗料でふさがってしまい、水分(雨水)の排出が悪くなる。

● 試験塗装の様子

従来の縁切り工法は…



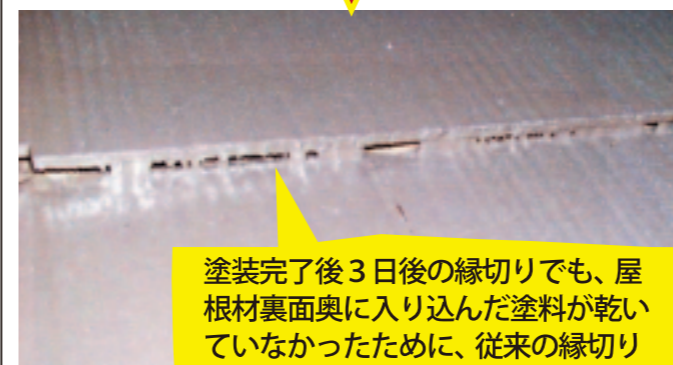
塗装完了後の縁切りでは塗膜が剥がれてしまうことがある。



塗装完了後、翌日の縁切りでは再び上下が密着してしまうことがある。

従来の縁切り作業では…

1. 皮スキ、ケレン棒、カッター等での縁切り工法では屋根材コグチ部が破損することが多かった。
2. 適度な通気性確保の有無確認が難点だった。
3. 工事仕様(使用塗料・工法)によっては再び屋根材上下重なり部が密着してしまった。
4. 仕上げた屋根面にキズや足跡をつけてしまった。



塗装完了後3日後の縁切りでも、屋根材裏面奥に入り込んだ塗料が乾いていなかったために、従来の縁切り工法では困難だった。

タスペーサー縁切り工法

より良い通気性を確保するためにタスペーサー工法をお試しください。

1 高圧洗浄



屋根の状態をよく観察し、丁寧に高圧洗浄を施す。

2 下塗り



乾燥後、シーラー・プライマー等の下塗りを施す。

3 タスペーサー挿入中



タスペーサーは、シーラー・プライマー等の下塗り後に、屋根材(約910mm)幅に対して左右15cm位のところに挿入してください。※mあたり約10個使用します。

挿入作業



◆タスペーサーの挿入にくい箇所や、前回の塗替えでの塗膜で、屋根材上下が密着している箇所は、エスパッター(皮スキでも代用可)を使い隙間を開けてから挿入してください。

4 中塗り～上塗り



5 塗装完了



タスペーサーを抜き取らずにそのまま完了。

6 仕上がり



より通気性のある屋根塗替えが可能に

適切に縁が切れ、水分(雨水)が溜まりにくくなる。通気性も適度に確保できる。

タスペーサーの安全性

タスペーサーを挿入した箇所の真上や周囲に、普通の作業性で、ある程度の加重がかかっても、屋根材が破損しにくいことがわかります。



ご注意

1. ご使用の際には、必ず取扱注意事項をお読みになってから使用してください。
2. 必ず規定の塗付量と工程で作業してください。

塗膜がきちんと形成されていないと、部材と屋根材小口部の密着性が悪くなり、部材が抜け落ちる危険性があります。ご注意ください。